

# わくわく体験レポート!!



皆さん、こんにちは！可児市ふるさと広報大使の塚本明里です。FMらで放送中の「あかりい話」や、フェイスブック「かにすき」を通して可児市のPR活動をしています。今回は初めての広報紙の取材で、わくわく体験館に行ってきました。はりきって施設の魅力をお伝えしていきます！

○プロフィール  
慢性疲労症候群と線維筋痛症、脳脊髄液減少症と診断され、現在闘病中。モデル活動や岐阜柳ヶ瀬商店街の非公式キャラクター「やなな」(平成25年引退)の広報など、闘病生活を送りながらも積極的に活動を続ける。昨年10月に可児市ふるさと広報大使に就任。

## 1 わくわく体験館に到着



行きます！

## 2 ガラス工房で職人さんを発見！



見て見て!!

## 3 ガラス工芸体験に挑戦



吹きガラス

体験コース(所要時間 約1時間)  
個人から団体まで、気軽にガラス工芸が体験できます。  
○吹きガラス体験  
○トンボ玉体験  
○サンドブラスト体験  
など



トンボ玉

入門コース(所要時間 約2時間)  
完成度の高い作品作りが楽しめます。  
○吹きガラス・トンボ玉  
○スタンドグラス など

※ガラス工芸を本格的にやりたい人向けの講座もあります。  
※作品によっては冷却し、完成するまで1日かかるものもあります。

今回、私はサンドブラスト体験に挑戦しました。初心者でしたが、オリジナルのガラス工芸品が簡単に作れちゃいました！



スタンドグラス

## アクセス・問合せ

わくわく体験館 (<http://www.kaniwakuwaku.com/>)  
住所 塩河 1071-4 (ささゆりクリーンパーク内)  
☎ 0565-1515  
(問い合わせは休館日以外の午前8時30分～午後5時)  
利用時間  
○ガラス工芸体験 午前9時～午後4時  
○宿泊 午後3時～翌日午前10時  
○日帰り入浴 正午～午後10時(月曜は利用不可)  
休館日 火曜、祝日、年末年始

## 5 楽しさ広がるこんな施設も



レクリエーションにぴったりな体育館(1時間230円～)



プロジェクターとスクリーンも利用できる、使い方自由な会議室(1時間210円～)

## どうして可児でガラスなの？

実は、可児市では江戸時代から明治時代にかけてガラス製造が行われていました。

現代の大手ガラスメーカー、石塚硝子株式会社の創業者である石塚岩三郎さんが、長崎でガラスの製法を習得し故郷へ帰る途中、土田でガラスの原料となる良質な石を見つけたのが始まりで、日本でもかなり早い時期に当たります。

わくわく体験館では年に1回、当時の吹きガラス製造の方法をできる限り再現した「江戸時代のガラス作り講座」を開いています。原料となる石を採取するところから始める昔ながらの製法を体験できます。

## 4 宿泊施設をのぞいてみました



10人部屋

広々とした10人部屋  
キッチン・冷蔵庫付  
(大人1人1,620円～)



4人部屋

ベッドで寝られる、アットホームな雰囲気の4人部屋  
(大人1人2,160円～)

みんなでわいわいできて楽しそう♪ 小学生のころの合宿を思い出すなあ。



食事はすべて持ち込みで、調理室で自炊もできます



木々を眺めながらゆったりつかれるお風呂。日帰り入浴も可  
(大人1人200円)

## 皆さんも体験館へ！

ガラス工芸体験は、普段なかなかできないので楽しかったです。

また、可児市でガラス製造が行われていたという歴史を感じながらガラス工芸体験ができるというのも、可児市だからこそできることではないでしょうか。

皆さんも家族や友達とわくわくを体験して、楽しい思い出を作ってくださいね。

